

2025年5月15日

日清製粉グループ 連結決算、次期連結業績予想

当期は、減収減益も政策保有株式縮減により当期純利益(親会社株主帰属)は増益。

次期業績予想は前期から増益の営業利益500億円、政策保有株式は縮減を継続。

当期配当は前期より10円増配、次期はさらに5円の増配を予定。

[2025年3月期連結決算]

売 上 高	8,514億86百万円 (前期比 99.2%)
営 業 利 益	463億80百万円 (前期比 97.0%)
経 常 利 益	492億10百万円 (前期比 98.4%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	346億84百万円 (前期比 109.3%)

(株)日清製粉グループ本社(取締役社長:瀧原 賢二)の2025年3月期の連結業績につきましては、売上高は、国内製粉事業における輸入小麦の政府売渡価格引下げに伴う小麦粉価格改定や海外製粉事業における小麦相場下落の影響等により、8,514億86百万円(前期比 99.2%)となりました。利益面では、海外製粉事業、中食・惣菜事業及びエンジニアリング事業の業績は堅調に推移したものの、各事業における原材料費や輸送費、労務費等のコスト上昇の継続、及び医薬品原薬の出荷減等により、営業利益は463億80百万円(前期比 97.0%)、経常利益は492億10百万円(前期比 98.4%)となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、政策保有株式縮減に伴う投資有価証券売却益及び日清ファルマ株式会社の事業活動終了に伴う事業構造再構築費用を計上したことにより、346億84百万円(前期比 109.3%)となりました。

当期の配当につきましては、前期より10円増額の1株当たり年間55円を予定しております。なお、株主還元の更なる充実と資本効率の向上及び経営環境を踏まえた資本政策遂行のため、自己株式7,700,000株を139億6百万円で取得しました。

[2026年3月期通期連結業績予想]

売 上 高	8,700億円 (前期比 102.2%)
営 業 利 益	500億円 (前期比 107.8%)
経 常 利 益	530億円 (前期比 107.7%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	390億円 (前期比 112.4%)

2026年3月期の通期連結業績予想につきましては、米国関税政策等を巡る各国の対応により、当社グループを取り巻く環境の先行きは極めて不透明な状況にあることから、現時点において次のとおり見通しております。売上高は、国内製粉事業における輸入小麦の政府売渡価格引下げに伴う業務用小麦粉の価格改定を実施するものの、加工食品事業における拡販施策、中食・惣菜事業における販売増、エンジニアリング事業における大型プラント工事の増加等により8,700億円(前期比 102.2%)、営業利益は、豪州製粉事業の収益拡大及び食品事業での出荷伸長に加え、各事業における価格改定の実施等により500億円(前期比 107.8%)、経常利益は530億円(前期比 107.7%)、親会社株主に帰属する当期純利益は、政策保有株式の更なる縮減により390億円(前期比 112.4%)としております。

なお、次期の配当につきましては、当期よりさらに5円増額の1株当たり年間60円を予定しております。

以 上